



ブックステーション 和白★本の駅

不定期 早春号

Vol.41 2025年3月



春も、和白図書館で

福岡のソメイヨシノの開花は例年よりやや早く、3月20日ごろになるそうです。ここ和白図書館の最寄り駅「福工大前駅」はホームから満開の桜が見られます。満開の様子も美しいですが、散っていくときの桜吹雪も見事です。桜を眺めながら、この春も和白図書館に足をお運びください。

本の処方箋

～さまざまなお悩みに司書がおすすめの本をご紹介します～

症状…新年度は何かと気ぜわしくて疲れます。読むとパワーがみなぎってくる本ありませんか？

処方箋1 :『絶景ビジュアル図鑑 理科が楽しくなる大自然のふしぎ』で理科で理解できないほどの力がわいてくるかも。(大)

処方箋2 :『やなせたかし詩集 てのひらを太陽に』の詩を胸に、勇気凛々のアンパンマンのように前に進もう。(花)

処方箋3 : イランで生まれ、エジプト、大阪で育ったパワフルな著者のエッセイ『ミッキーかしまし』を読むと元気がでます。(安)

処方箋4 :『にっぽん味噌藏めぐり』を読むと全国で味噌づくりに頑張っている人の力を感じ元気になります。(宮)



※『～』は本のタイトルです。和白図書館にありますよ。

各駅停車～「マナーアップキャンペーン」駅

返却ポストや自動返却機には、汚損・破損された本が混じっていることがあります。具体的には小動物が噛んだようなギザギザ痕、水分を含んで膨張、ボールペンで本のタイトルにチェック（読んだという印？）などにより傷んだ本です。経年劣化による本の傷みは仕方がないのですが、取り扱いにほんの少し注意を払うことで防げる破損もあります。

図書館では限られた予算の中で本を購入しています。そのため、破損・汚損したからといってすぐに買い替えることはできません。和白図書館の本は福岡市民全員の財産です。次の利用者に綺麗な状態で回せるように、ご協力よろしくお願ひいたします。

和白図書館おはなし会

« おはなし会 »

毎週土曜日 11:00～

場所:和白図書館おはなしのへや

3月	1・8・15・22日
4月	5・12・19・26日
5月	3・10・17・24日
6月	7・14・21・28日

工作教室



まわるてんとう虫

日時:3月29日(土)

11:00～11:40 (10:50から受付)

場所:コミセンわじろ2階 和室

対象:5歳以上

定員:先着5組(10名前後)

受付開始:3月1日(土)午前10時～

参加費:無料

お電話や和白図書館のカウンターで受け付けます。

« あかちゃんおはなし会 »

毎月1回 木曜日 11:00～

場所:コミセンわじろ2階 和室

定員:8組 申し込み不要

対象:0, 1, 2歳のあかちゃんとその保護者の方

3月13日・4月10日・5月8日・6月12日

福岡市出前講座

福岡フィルムコミッション

～映画・ドラマで

夢が広がる～

フィルムコミッションって
なに？

福岡でのロケ実績

撮影こぼれなし



日時:3月26日(水)

10:30～12:00 (開場10:15)

場所:コミセンわじろ2階 第1会議室

対象:一般 30人 (先着順)

受付開始:2月26日(水)10時～

お電話や和白図書館のカウンターで受け付けます。

和白図書館員が贈る 今回のおすすめ本

「思い出がいっぱい」という思いでいっぱい
『東京會館とわたし(上)(下)』
辻村 深月 /著 文藝春秋 2019.9
ISBN : 4-16-791342-7 (上)
ISBN : 4-16-791343-4 (下)

小説

東京會館は1922年に「民間初の社交場」として開館。著者はここで結婚式を挙げ、直木賞受賞記者会見に臨み、東京會館について執筆することを望み、それを敢行、刊行した。

上巻は旧館時代、下巻は建て替え以降の東京會館の合計11の物語が収録されている。

酒を避けがたい客のために牛乳入りカクテルを考案、初代製菓部長がお土産用の菓子製造に成果をあげたこと、毎回あがりながらステージにあがりつづけた越路吹雪さん、東日本大震災で行き場を失った人たちに一旦一般開放…。

文庫版の装丁は、上下巻で並べると、背景が夜と昼のシャンデリアになる。大正から伝統として対処しながら受け継がれてきた電燈である。必携とは言わないが、必見である。(大)

私にも届かないかな
『しじんのゆうびんやさん』
斎藤 倫/作 牡丹 靖佳/画
偕成社 2024.11 ISBN:4-03-643260-8

児童

物語の舞台は小さな街。街の郵便局では、背が高い男ガイトーと、もさもさ髪の男トリノスが働いている。

ある日、トリノスから、手紙をもらったことがない灯台守の話を聞き、なぜかガイトーは灯台守に差出人なしの手紙を書いた。灯台守が開封すると、そこには詩が書かれていたのだった。

これをきっかけに、依頼されれば、ガイトーは名前を伏せて詩の手紙を書き、トリノスは配達した。大変だけれど懸命に時間をかけて書いている、というガイトー。依頼人の思いを汲んで書いた詩は登場人物たちの心を揺らし、読者の自分にも印象深かった。ガイトーの側で詩というものを知ったトリノスが、最後に呟く言葉が胸に響き、もう一度最初から読み返したくなつた。(花)

館長のひとりごと

京都にある龍安寺石庭の石が実際には15あるが、縁側のどこからも14しか見えないと聞いて、実際に現地に行って試したことがある。やはり14だった。

この企みの真意について定説はないらしい。全て見えているつもりで油断するな、慎重であれという教訓、完全(15)に到達することは至難の業、到達したと思っても14つまり、奢るべからずという戒め、あるいは単なる遊び心など、勝手に考えてみた。

日米で野球の殿堂入りを果たしたイチローさん。満票での決定ではなかったが、本人は「これでいいのだ」という反応。不完全であるから、さらに先に進めるとのこと。

十五夜お月さんも満月の後は欠けるのみ、完璧ではないからこそ多くの可能性を秘め、おもしろいのだと龍安寺の石も言っているのでは。(小)

無限の先には何がある?

『無限の中心で』

まはら 三桃 /著
講談社 2020.6
ISBN : 4-06-519705-9

YA

読書が好きで、数学が苦手な野崎とわは、高校2年生。ある日、強引に新聞部の助っ人を押し付けられてしまします。渋々、数学研究部に、数学オリンピックの取材に行くと、個性的でハイスペックな3人の男子部員が、「木曜日のミステリー」に夢中になっていました。月曜日に解き残した問題を置いておくと、次の活動日の木曜日に、インパクトのある解答が置いてあるというのです。部員達は、その解答者を探していました。解答者の独特な筆跡に見覚えがあるとわでしたら、関わりたくない理由があつて…。

部員達の一生懸命に、真っすぐに数学に取り組む姿を見て、とわは、自分も何か頑張りたいという気持ちになります。背中を押してくれる1冊です。(安)

推し色をみつけてみよう!

『はじめての万年筆とインクの本 気軽に楽しむ!』

BEGINNER'S GUIDE TO FOUNTAIN PENS&INK
mizutama /著 エクスナレッジ 2023.8
ISBN : 4-7678-3173-2

一般

私の世代では、中学や高校に進学する時には万年筆をプレゼントにもらつたものです。

初めて万年筆を触った時は、大人になったような気がして嬉しかったのを覚えています。でもいつからか万年筆は、ふだんあまり使われなくなりました。

しかしこの頃、文具女子という言葉に代表される文房具ブームがきています。その中でも「インク沼」というインクにはまる人たちが多く、それにともない万年筆もまた見直されているようです。

本書は、はじめて万年筆を使う人のために、万年筆やインクの選び方、使い方をかわいいイラストでわかりやすく教えてくれています。春は新しいスタートを切る人も多い季節です。この機会に万年筆生活を始めてみませんか?(宮)



編集後記

夏に向けて筋トレに励みます!(須)

福岡市和白図書館

〒811-0213 福岡市東区和白丘1丁目22番27号
JR福工大前駅内 コミセンわじろ4F

TEL 092-608-8490

開館時間 10:00 ~ 18:00

*本の検索・ご予約*福岡市総合図書館ホームページ
(<https://toshokan.city.fukuoka.lg.jp/>)